

1. そうじのしかたを考えよう

● 家の中では便利なそうじ用具や洗ざいがずいぶん使われています。

あなたの家ではどんな物を使っていますか。それは環境にとってどうでしょうか。



〔注〕住宅用洗ざいの使い方

必ずご使用前に使い方と使用上の注意をよく読むこと

まぜるな危険

塩素系

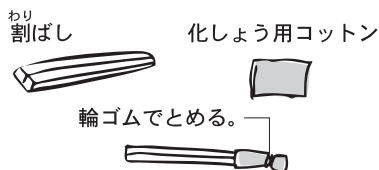
住宅用洗ざいを使う場合は、必ず表示を読んで、使用方法や注意を守り、適量を使う。

ちがう種類の洗ざいを同時に使うと危険だよ!

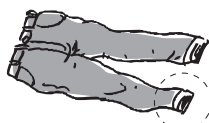
● 自分でも作れるそうじエコグッズ

① 窓のレールそうじに

(アルミのサッシのレールやすみのそうじに便利)



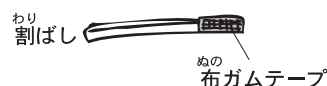
② 鏡や台所の流しのそうじに



古くなったジーンズのズボンのすそを切りとる。

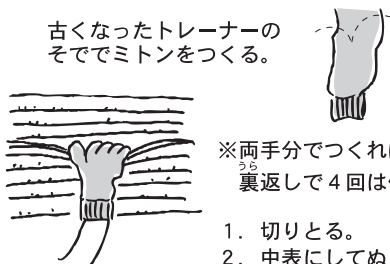
③ コーナーのほこりとりに

(じゅうたんのすみのわたほこりとりに)



④ フラインドのそうじに

古くなったトレーナーのそででミトンをつくる。

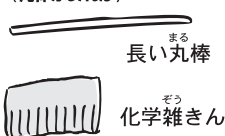


1. 切りとる。
2. 中表にしてぬう。

洗ざい液をつけ、しぼってからふく。

⑤ はたき

(丸棒があれば)



1. 化学雑きんの不用品のはしを切る。
2. しぼる。



⑥ たわし

1. 野菜用ナイロンネットを4つにたむ。



2. かんたんにぬう。



⑦ Tシャツ



空き箱

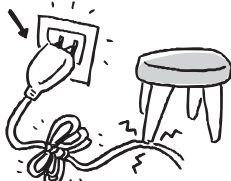
* 古くなったタオルなどもじょうずに生かしてみましょう。

2. 電気やガスを安全に使おう

● 電気やガスを正しく使っていますか。

電気製品 (プラグ・コンセント・電源コード)

プラグはコンセントに
しっかりと差し込む。



コードの上に物を
置かない、のせない。

ぬれた手は、危険！

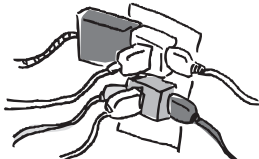


たばねないでね。

たこ足配線は
危ないよ。

たまったホコリから火事！
そうじをしよう。

コードを引っぱらず
プラグを持って
抜こう。



傷んでいないか
確認しよう。

ガス器具

火を使ったら火元を
離れない。



ガスをつけたら
換気を
しよう。



外出をする時、
寝る前にはガスせんを
止める。



点火・消火の確認。



冷・暖房器具

ストーブの近くにスプレー缶
(ヘアスプレー、殺虫剤など)や
燃えやすいものを置かない。



低い温度でも
長時間
ふれると
やけどする。



- * 電源コードやプラグの部分が傷んでいないか、時々点検してみましょう。
- * 使用しない時は、コンセントからプラグを抜いておいたり、主電源スイッチを切りしめておくと、電力の節約になります。(待機電力)
- * 室温に注意し、冷やしすぎず、暖めすぎないようにしましょう。
(冷房は28℃、暖房は20℃が目安)
- * 窓を開けてこまめに換気をしましょう。

けんり 消費者の権利

わたしたちが、消費生活をしていくうえで守られていることがあります。それはどんなことでしょう。

安全な品物を求める権利



本当のことを知らされる権利



4つの権利とは

商品を自由に選んで買う権利



わたしたちの意見を反映させる権利



この4つの権利は、「消費者の権利」といわれ、消費者の利益を守る大切な権利です。この4つの権利をよく理解して、毎日の生活の中に生かしていくようにしましょう。

また、4つの権利をもとにして、おだな買い物をして、よく考えてから買うなど、商品を選ぶのに必要な知識を身につけましょう。

これは、かしこい消費者になるために大切なことです。

未来の地球を守るために～SDGs～

世界には、^{まず}貧しく^{くる}苦しんでいる人々がいたり、^{ちきゅうおんだんか}地球温暖化による^{かんきょうはかい}環境破壊が進んでいたり、^{さまざま}様々な問題があります。

そこで、世界の代表者が集まり、環境や生物を守り、^{だれ}誰ひとり取り残されることなく、貧しい人々もみんなが豊かに暮らすことができる安全な世界がずっと続くように、17個の目標を立てました。この目標のことをSDGs(^{じぞくかのう}持続可能な開発目標)とよび、2030年の達成を目指しています。

● 12番目の目標「つくる責任つかう責任」について考えてみよう

12 つくる責任
つかう責任

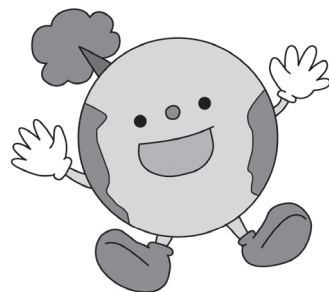


物を作るためには^{しげん}資源やエネルギーが使われます。大量に物が作られ、大量に消費する暮らしは、地球温暖化など、地球に大きな負担を^{ふたん}かけることになります。限りある資源を大切に^{しな}して未来につなげていく責任が私たちにあるのです。

私たちはどんなことができるかな？

- ・ 買い物をするときは、必要な物、必要な量だけ買う。
- ・ 環境にやさしい商品を選ぶ。
- ・ リサイクルをして、ごみの量を減らす。
- ★ 今まで学んだことを思い出してみよう。

次のページのチェックもしてみよう。



未来の地球を守ろう

もったいない！

「食品ロス」の問題

食べ残し、売れ残り、期限が近いなどの理由で、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

日本の食品ロス量は、年間 522 万トン（農林水産省・環境省令和2年度推計）。これは、日本人1人当たりが毎日お茶わん1杯分のご飯を捨てているのと同じ量になります。大量に食品を作り、大量に捨てる^す。それを捨てるためにも^{ひよう}費用とエネルギーがかかります。とてももったいないことですね。その一方で、世界には、^{ひんこん}貧困で食事に^{こま}困っている人がいます。食べ物を無駄なく、大切に消費するように心がけましょう。

生活を見直すためのチェック

できたこと	○ ×
・ ほしい物があるときは、必要かどうかよく考えている。	
・ 商品を買うときは、品質 ^{ひん しつ ひょう じ} 表示を見ている。	
・ ほしい物があるときは、いろいろなお店や値段 ^{ね だん} を調べる。	
・ 買ったものは、大切に使っている。	
・ お金を使いすぎないように、記録を残している。(レシートなど)	
・ エコバッグを使うようにしている。	
・ テレビを見ていないときは、電源 ^{でん げん} を切っている。	
・ 食べ残しをしないようにしている。	
・ 電灯を使わないときは、スイッチを切っている。	
・ 冷蔵庫 ^{れい ぞう こ} を開ける回数を少なくしている。	
・ 紙のうらをメモや計算用紙に使っている。	
・ 水の出しっぱなしをしないようにしている。	
・ ゴミの分別 ^{し げん かい しゅう} や資源回収に協力している。	

わたしたちの生活 令和5・6年度版

—— 消費者教育用副読本（小学校5・6年生用） ——

令和5年4月発行

編集 板橋区小学校家庭科研究部
板橋区消費者センター

編集協力 板橋区教育委員会事務局・資源循環推進課

発行 板橋区消費者センター

板橋区板橋二丁目65番6号 板橋区情報処理センター7階
電話 03-3579-2266

刊行物番号

R05-5

板橋区消費者センター のご案内

消費者センターは、みなさんのパートナーとして、
くらしのお手伝いをするために、次のような活動をしています。

相 談



専門の相談員が、消費生活
に関するさまざまな相談に
応じています。

講 座

・出張講座

学校や地域に出向いて、
消費生活について勉強会を
します。

・消費生活講座

親子で参加できる講座や
いろいろな研修会を行って
います。

〒173-0004

板橋区板橋二丁目 65 番 6 号
板橋区情報処理センター 7 階

TEL 03-3579-2266

FAX 03-3962-3955

相談電話（受付時間：平日9時～16時半）
03-3962-3511



年 組	名前
-----	----